

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	竜東ケーブルテレビ事業	会計	ケーブル	事業No.	50	施策順No.	92-008
		事業種別	政策・その他	予算科目	1-1-1-10-1		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	秘書課		
施策	92 情報共有の促進		事業期間	開始	17	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	竜東地区(下久堅、上久堅、龍江、千代)の市民					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		2966	2966	2966	2966	2966		
意図	①高度情報化に対応した情報媒体を利用してもらう ②農業情報受発信により、農業・農村振興を図る							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	ケーブルテレビ加入率(%) 22実績:1569戸	48.4	49	49.5	53	51.8	55	B
	ケーブルテレビで情報発信する番組数 単位:年間の放送番組数 ほっと農業タイム、いきいき彩々	15	24	24	24	24	24	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	株式会社飯田ケーブルテレビ、各地区まちづくり委員会と連携をとりながら、各地区に出向いて加入促進を図った							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	①竜東地区の市民が、ケーブルテレビを情報媒体として有効に活用し、行政情報や地域情報、災害情報をタイムリーに入手することで、安心して快適な暮らしができるようにケーブルテレビ施設の維持管理を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	竜東ケーブルテレビの管理運営事業 1 施設利用状況 2 施設運営管理業務委託(加入者管理業務等) 3 放送センター等共用施設使用料(デジタルヘッドエンド設備、自主放送設備等) 4 事業用機器購入費 5 施設運営・維持管理(ケーブル移設工事等)	1 加入率 2 業務契約数 3 放送センター施設 4 受信設備購入台数 5 移設工事等か所数	1 51.8% 2 3業務 3 1式 4 100台 5 83か所
23年度実施計画	竜東ケーブルテレビの管理運営事業 1 施設利用状況 2 施設運営管理業務委託(加入者管理業務等) 3 放送センター等共用施設使用料(デジタルヘッドエンド設備、自主放送設備等) 4 事業用機器購入費 5 施設運営・維持管理(ケーブル移設工事等)	1 加入率 2 業務契約数 3 放送センター施設 4 受信設備購入台数 5 移設工事等か所数	1 55% 2 3業務 3 1式 4 80台 5 40か所

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (そ) 分担金 1,228千円 (そ) 使用料 46,959千円 (そ) 諸収入 2,779千円 22→23 繰越明許費 2,783千円
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他		59,701	50,966	61,266	
一般財源						
	計(A)		59,701	50,966	61,266	
	正規職員所要時間			800		
	臨時職員等所要時間			1,940		
	人件費計(B)			4,946		
	トータルコスト A+B			55,912		

4 事業に対する市民や議会の意見

①加入形態の見直しに対する要望がある。
②加入率を向上させるようにとの意見がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市役所・市民が情報を共有する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が知りたい行政の情報が十分に入手できると感じている市民の割合(%)
				0.628
この事務事業は施策の目的達成にどのよう貢献しましたか	4年間の振り返り	着実に加入率が向上している		
	後期に向けた課題	当初見込んでいた加入世帯数の確保		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	加入しやすくするため、料金プランと分担金の改定を実施 各地区に出向き説明会を実施		
	後期に向けた課題	引き続き加入促進に努める		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	サービスを提供していくための必要最小限の事業費		
	後期に向けた課題	設備の朽化等による多額の更新費用の発生		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市の条例に基づく事業であり、適切な負担		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してききましたか	4年間の振り返り	①主体は行政で ②株式会社飯田ケーブルテレビ、各地区まちづくり委員会と連携し、データ放送や音声告知サービスの魅力をPRしながら、加入促進を図った		
	後期に向けた課題	より多くの市民に情報提供ができるよう加入率の向上		
全体を通じて	4年間の振り返り	着実に加入率は向上しているものの、当初見込んでいた加入世帯には至っていない		
	後期に向けた課題	株式会社飯田ケーブルテレビ、各地区まちづくり委員会との連携が不可欠 将来にわたるケーブルテレビ放送施設の整備及び改修に要する費用の財源に充てるための基金の着実な積立		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------